平成 23 年度事後評価・決算

事務事業マネジメントシート

	雲南夢ネット運営事業(デジタル化整備事業)	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
政策名	総〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり≪定住環 合 境≫	所属G	情報政策G	課長名	三原修三
施策名	計 画 〈06〉地域情報化の推進	担当者名	白築 輝二		0854-40-1015 3521
基本事業名	体系 (016)情報通信(技術・手段)の整備促進	予算 科目	会計 款 項 0 1 1 0 0 5 5	目 中事業 5 2 9	雲南市·飯南町事務組 合負担金(CATV)

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
□ 単年度繰返 (年度~) □ #####		を行う。
	** / *	21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 全体

(2)トータルコスト

手段

①事業質の内訳(概要)	
雲南市・飯南町事務組合負担金	23, 484千円
・データ放送整備	21, 930千円
・デジタルカメラ	1, 554千円

②延べ業務時間の内訳	(業務の流れ等)

- ①雲南夢ネットデジタル化協議
- ②実施計画の調整、予算協議 ③事業実施確認、負担金の支弁

			単位	21712			21-12		PT*
			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	計画
	財	国庫支出金	千円						
事		県支出金	千円	51,170					51,170
業		地方債	千円		9,100		45,000	25,000	9,100
	訳	その他	千円	34,089					104,089
貝		一般財源	千円	1	6,669	23,484	5,000	5,000	40,154
	事	≇業費計(A)	千円	85,260	15,769	23,484	50,000	30,000	204,513
人	正	規職員従事人数	人	1	1	1	1		
件		延べ業務時間	時間	267	403	157			
費		人件費計(B)	千円	1,018	1,567	619	0	0	
 	ータ	ルコスト(A)+(B)	千円	86,278	17,336	24,103	50,000	30,000	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標 ① 主な活動 23年度実績(23年度に行った主な活動) ・自主放送におけるデータ放送の整備(庁

内検討会議を設置し協議) 1式 ・デジタルカメラの購入 2台

24年度計画(24年度に計画している主な活動)

・スタジオ及び調整室のハイビジョン化整備

ĮΤ	[日 [宋								
1	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終	
(5) 活動指標	丰四	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
-	ア CATV加入者件数	件	13,148	13,199	13,166				
	イ CATV加入世帯数	世帯	12,250	12,292	12,286				
,	う STB契約世帯	世帯	514	1,995	2,603				
-	エ CSデジタル放送契約数	件	439	1,981	2,500				
7	サ 地上デジタル放送チャンネ ル	波	6	6	6				

	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	 	標	名 対象指標	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	市民		ア	人口(推計値)	人	42,428	41,927	41,159	41,454		
				世帯数(3月末住基世帯)	世帯	13,658	13,667	13,647			
外口	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)		7	成果指標							
Η.	・ケーブルテレビの施設・設備を地上デジタル放送に対応する。 ・自主放送をデジタル化し、県内テレビ局との連携を図り、市内の情報格差を是正する。	'	ア	ケーブルテレビ加入率	%	89.7	89.9	89.8			
			イ	STB設置世帯割合	%	3.8	14.6	19.0			
	・市民へ行政情報(地域情報含む)を提供する。		ゥ								
上	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)		8	上位成果指標							
位目	高度情報通信環境を利活用する。		ア	ケーブルテレビ加入率	%	89.7	89.9	89.8			
的			イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

(7) 予切于不以深先女儿、正人思儿女		
① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
ジタルで再送信している。	自立した再送信機能が整備できるまでは、ケーブルテレビ事業者のネットワークにより、地上デジタル波を加入者に提供	デジタル放送移行対応のための市民への周知 (市民、議会)

雲南市(H22年4月改正版)ver.1.1

2 芽種の部(SEE) - 原則は予報が高、方だ人物質を促棄を注意を申請値しての機能体系の移性しての移動をしている。 つりままります。 1 別 2 公共関与の受当性		事務事業名	雲南夢ネット運事業)	営	事業(デジタル化塾	整備	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
□、政権体系との著合性	2	評価の部(SEE) *		価	、ただし複数年度	事業は	途中評価			
□ の				Г					性・改革改善	に反映
野藤木にはサンスか?裏面すること 四月上アグル改会・一の歩作は、巨の方面に、全で、単でかか。 四月上の大力を対した。 四月上の大力の大力を対した。 四月上の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の大力の				굣	結びついている	⇒【 理	申】つ			
□ 大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					地上デジタル放送へ	の移行	だい 国の カ	片針に基づく施策で	ある。	
図 公共関与の妥当性 図 会社の体的 回 回 3 今後の方向性・改革改善に反映 図 当成する目的かつ 日本の本書と市(制)が行かなげ 性 1 1 2 2 3 3 4	L	東体糸に結ひつくか	くここと						o	
要当なぜこの事業を市(町)が行わなけ性 利はあらないのか?程金を収入しまた。				┝	日本」人はより	/ ⊤⊞	- T	→ 0 会然の土白	ᄽ	1- Enh
当なぜこの事業を書(割)が行わなけ 情が、活ながから?報金養投人 耐で、速度する目的か? 一度の一体を細たすべきか?意図を 一度で、地方すべきか?意図を 一度で、地方すべきか。 一度の上条地がある。3回の19 30 30 後の方向性・改革改善に反映 一度の上条地がある。3回の19 30 30 後の方向性・改革改善に反映 一度の上条地がある。3回の19 30 30 60 万方で、大きない。 原文・地方できか。2回の一方では、アジットのでは、アジットのではから、アジット化による高機能を折たな行政サービスの発供に能能の表現をの意味を含める。3回の主ないでは、アジットの機能を指すとしたが、 原文・作ないなど、アジットがは、アジットの機能を指すとしたが。 原文・作ないの成果への影響。 素質を含めたできなからかきな。 10 万条本で作ないのでは、アジット化による高機能なサービスの原理に能能の表現を表現していて、アジット化による高機能をおしている。 「同た条地がある。1回自力 30 30 後の方向性・改革改善に反映 「対象をではないか。2回自力 30 30 後の方向性・改革改善に反映 一度の強力など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による高機能なサービスが開ている。 一般など、アジット化による原理を表している。 一般など、アジット化による原理を表している。 一般など、アジット化による原理を表している。 一般など、アジット化による原理を表している。 一般など、アジット化による原理を表している。 一般など、アジットのよるとにより、定域書に反映 「対象を述めな」」「国由」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「耐寒を始めな」」「国由」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「耐寒を始めな」」「国由」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「耐寒を始めな」」「国由」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「耐寒を必めな」」「国由」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「対象を発化といって、型は由」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「対象を発化をな」」 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「対象を発化とない」 2回由) 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「対象を発化とない」 2回由) 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「対象を発化とない」 2回由) 30 30 6後の方向性・改革改善に反映 「対象を表しない」 20 40 20 30 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20			∃1注	늗				→3 予仮の方向	注"以里以吾	1-反映
情報というなどのか?教会を殺人し 同様立下さことなく参加に来売していることが、デジタル学に変あする自動か?	当	┃ なぜこの事業を市()	町)が行わなけ					*で運営1 ているが	旧古で利犬が	
開て、速成すら目的か?	1/4	ればならないのか?	税金を投入し							
(棚)	評	て、達成する目的か	, ?						1011111101	Salar arm. Em. Sy ox
対象を観ま、追加すべきか? 窓図を 限定・拡充すぐをか?	価	③ 対象・意図の妥	妥当性		見直し余地がある	⇒【 理	申】シ	⇒3 今後の方向	性・改革改善	に反映
関東・地東すべきか? 中では、地東でのは大水生とある。 「意図については、デジタルの高機能を使用することで令後拡大している。 「意図については、デジタルの高機能を使用することで令後拡大している。 「意図については、デジタルの高機能を使用することで令後拡大している。 「意図については、デジタル化による高機能とす。 「意図については、デジタル化による高機能とす。 「意図については、デジタル化による高機能とす。 「意図については、デジタル化による高機能とす。 「要はないかで、同が関ロできないのかで、関西の資産とは、一般である。 「要はないかで、同が関ロできないのかで、関西の資産とは、一般である。 「要はないかで、同が関ロできないのかで、関西の資産とは、一般である。 「要はないからの有機とその内容はできる。」 「整理」										
② 成果の向上会地 成果の向上会地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の関連大楽とめる一き水準との 変異はないからの一部の野野 対策的できないのか?									よる高機能を	新たな行政サービスの提供に活
□ の東東の向上余地 「原素の向上余地との地域を高いるべきが整との 「原業の自とないのかっての原用では表面。 「原素の自とないのかっての原用では表面。 「原来でいるからいるが表面。 「原来でいるからいるから、一方が上でが提供する情報がない。 「原来に「休止した場合の影響を関います。」 (国由)		限定・拡充すべさか	'?					_	4世十1 アロノ	
□ 申上条地が払い → [理由] □ □上条地が払い → [理由] □ □上条地が払い → [理由] □ □上条地がよい → [理由] □ □上条地がよい → [型由] □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		金田の白と夕	+Jh	_						
京集の現状水を上あるべき水準との 要似さいか?何が原田で成果的 古				ř				→3 →後の万円	压-以单以告	に及吹
大型力では、よったの情報があたり、一人の大型であったから、カーブルとのである。				-						
上が照待できないのか?										能である。
#		上が期待できないの)か?		グーノルノレビが促	供 9 つ1	目をひりかんプ	くとサービスの同土が	は珠色である。	
# 888年 * (*******************************	有	⑤ 廃止・休止の原	找果への影響				_	⇒3 今後の方向	性·改革改善	に反映
世		事效事 类 + 虚	ᇄᄓᄼᆁᄉᄼᄝ					フェー・一	.::\	マネムノムフ ユナー 日のお佐し
簡						、アンク	メルカトによ	る	が甲氏に従供	できなくなる。また、国の政策とも
一	評	⑥ 類似事業との終				5 .(E	具体的な=	手段 事務事業)		
□ 財産に方法はないか?頼似事業との連集を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似する事業は無い。 対しに手段がない ⇒ (理由) 対しに手段がない ⇒ (理由) 対しに手段がない ⇒ (理由) 対しに手段がない ⇒ (理由) 対したがある ⇒ (理由) 対したいか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 利減余地がない ⇒ (理由) 対したいが。(性様や工法の適正化、住民の協力など) 利減余地がない ⇒ (理由) 対したいが。(性様や工法の適正化、住民の協力など) 利減余地がない ⇒ (理由) 対したいが。(世代の協力など) 利減余地がない ⇒ (理由) 対したいが、(理由) 対したいが、(連由) 対したが、(連由) 対したがでははは対したが、(連由) 対したがでははは対したがでははは対したがでははは対しないが、(連由) 対したがでははは対しないが、(連由) 対したがでははは対しないが、(連由) 対したがでははは対しないが、(連由) 対したがでははは対しないが、(連由) 対したいが、(連由) 対したがでははは対しないが、(連由) 対したいが、(連由) 対したがではははがないが、(連由) 対したいが、(連由) 対したいが、(は、(連由) 対したいが、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、(は、	価		2000	ľ	121-1 122 050	V (5	- W. H. J. C.	170、子切子木/		
□ が終合にき法はないか?類似事素との連集を図ることにより、成果の向上が期待できるか? □ 側頭条能がない ⇒ [理由] □ 類似する事業に無い。 □ (型由) □ → 3 今後の方向性・改革改善に反映 □ 側頭条能がない ⇒ [理由] □ → 3 今後の方向性・改革改善に反映 □ 側頭条能がない ⇒ [理由] □ → 3 今後の方向性・改革改善に反映 □ 刺頭条能がない ⇒ [理由] □ → 3 今後の方向性・改革改善に反映 □ 刺頭条能がない ⇒ [理由] □ → 3 今後の方向性・改革改善に反映 □ 刺頭条能がない ⇒ [理由] □ → 3 今後の方向性・改革改善に反映 □ 利頭系能のない。 ○ (世本) ○ (本来 ※務時間) の削			は、この事務事業		□ 統廃合・連携が	できる	⇒【珥	曲】5 →3 今往	後の方向性・	改革改善に反映
□ 政連株を図ることにより、成果の向上が期待できるか? □ 和演余地がおる □ 理由】					□ 統廃合・連携が	できない				
上が期待できるか?					類似する事業は無い	١.				
① 事業費の削減余地				_		_				
成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住性 大いかって (仕様や工法の適正化、住性 大いかって (仕様や工法の適正化、住性 大いかって (仕様や工法の適正化、住性 大いかって (仕様や工法の適正化、住性)				¥				コュム後の士	· 수사 · 가보기	r 美 / - 도 oh
対成果を下げずに事業兼会削減できないから、性機や工法の適正化、住民の協力など) (仕様や工法の適正化、住民の協力など) (世) 人件費(延べ業務時間)の削		① 争未負の削減 	赤地	F				一つ フ仮の力	1911年,以单位	(普) 及吹
(4) 改革・改善による期待では、	L.	成果を下げずに事業	業費を削減でき				- •	マ佐に下りがり 一、	7 # (# 4 🚓 1	
性(多) 人件費(延べ業務時間)の削			法の適正化、住			、(、発	畑賀用の	土稲に取り組んでい	る。 整備内谷 も)県内事業者と連携し圧縮に劣め
価	件	民の協力など)	k 75 at 00 \ a \ki		-					
価	評	⑧ 人件質(延べま	・ (務時間)の削	Ŀ	削減余地がある			⇒3 今後の万	i 同性·改革改	Z善に反映
滅可能か?成果を下げずに正職員 以外や委託できないか? 公 ③ 受益機会・費用負担の適正 平 化余地 性事業内容が一部の受益者に偏って 評いて不公平ではないか?受益者負 価担が公平・公正から → 「理由】 → 「テレビ受信機の形態によってサービスを享受できない市民もいるが、基本は全ての世帯を対象に実施して 個担が公平・公正か? 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) (1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ② 適切 ② 見直し余地あり ② 有効性 ③ 効率性 □ 適切 ③ 効率性 □ 適切 ② 対象率性 □ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ 見直と余地あり □ 見声と光音を視聴していただくことが重要で、そのためには自主放送を視聴していただくことが重要で、そのためには自主放送を掲聴していただくことが重要で、そのためには自主放送を掲聴していただくことが重要で、そのためには自主放送を掲聴していただくことが重要で、そのためには自主放送を掲載の制作を充実させなければならな □ コスト □ 本 で で は 本 正 本 正 本 正 本 正 本 正 本 正 本 正 本 正 本 正 本		/成/八七匹		 •	削減余地がない	⇒[坦	計田 7 →			
以外や委託でできないか?						南市・負	飯南町事務	8組合の共同事務と	して実施してい	ることから、市の業務に負担とな
平 化余地 性 事業内容が一部の受益者に偏って 評して不公平ではないか?受益者自 間担が公平・公正か? 3 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)(PLAN) (1) 1次評価者としての評価結果 ① 自的妥当性 ② 適切 ② 自直し余地あり ② 有効性 □ 適切 ② 見直し余地あり ② 分平性 図 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 図 適切 □ 見直し余地あり □ 別次番組の制作を充実させなければならない □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のたり方改善(対率性改善) □ 事業のたり方改善(対率性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ は 文本・次書による期待成果 □ は 本持によるが、表記を表記していただくことが重要で、そのためには自主放送番組の制作を充実させなければならない。 □ は 本持による					ることはない。					
性事業内容が一部の受益者に偏って評いて不公平ではないか?受益者負			用負担の適正		見直し余地がある	⇒【 理	由】5	⇒3 今後の方	i向性·改革改	双善に反映
				V	公平・公正である	⇒【 理	■】う			
計して不立てきばない。 ではない。 であっています。 ではないます。 ではないます	性	事業内容が一部の	受益者に偏って		テレビ受信機の形能	にとって	・ てサービス	を享受できかい市民	ないろが 基オ	sけ全ての世帯を対象に宝施して
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) (1) 1次評価者としての評価結果	評価	いて不公平ではない	\か?受益者負 '			1000	() () (医子文(Clat 市政	70 V 20 V 25/1	神女工でジ 世間 と内 多代 人 帰じて
(1) 1次評価者としての評価結果				()	7年 由計画レ系質 /	<u>`</u>	h中)(ロ ^i	M)		
① 目的妥当性 ② 適切 □ 見直し余地あり ② 有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ③ 効率性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ りませな □ りませな □ りませな □ りままが □ 事業 が □ りままが □ 事業 が □ 事業 が ゆり 方 改善 (公平性 ○ 一 事業 の やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 一 事業 の やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 一 事業 の で やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 一 事業 の で やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 一 事業 の で やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 一 事業 の で やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 一 事業 の で やり 方 改善 (公平性 ○ 市 また ○ 下 で 下 で 下 で 下 で 下 で 下 で 下 で 下 で 下 で 下				_(0	、十反前四〇八昇(、			. 反省点)	
② 有効性 ③ 効率性 ② 適切 ② 見直し余地あり ④ 公平性 ② 適切 ② 見直し余地あり ④ 公平性 ② 適切 ② 自動し余地あり ② う後の事業の方向性(改革改善案)・・複数選択可 □ 廃止 □ は、まず市民に自主放送を視聴していただくことが重要で、そのためには自主放送番組の制作を充実させなければならない。 (3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・複数選択可 □ 廃止 □ 体止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ	<u> `</u>		HI IMPO		_		-/ -	100 101 (100, 7 /22) (, A H M/	
③ 効率性 ④ 公平性 ☑ 適切 見直し余地あり										
④ 公平性		② 有効性								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		_							を番組の制作	を充実させなければならな
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。 現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ		④ 公平性	🔽 適切		□ 見直し余地	あり	()	0		
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。 現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ	(3)) 今後の事業の方	向性(改革改善	室)•••複数選択可				(,	4) 改革・改善による期待成果
□ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。 現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事 務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ						連携			1	
ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。 現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事 務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ					□ 事業のやりた	改善(効率性改	善)		
ケーブルテレビの自主放送チャンネルの形態と番組の充実 CS放送等デジタル放送番組を充実し、加入者を拡大する。 現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事 務組合における経営の合理化を進めていく。 (廃止・休止の場合は記入不要) (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ		事業のやり方改善(公平性改善)		□ 現状維持(従	来通り	で特に改革	革改善をしない)		
現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ		ケーブルテレルのリ	自主扮送チュン	マ	しの形能し来知の:	左宇				
現状の市民サービスの維持を前提とした場合、民間事業者の参入が困難なことから、引き続き事務組合における経営の合理化を進めていく。 (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ										/% ∰ ×
務組合における経営の合理化を進めていく。 【加丁】							参入が困	難なことから、引き	き続き事	低
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ										下 ^ ^
 自主放送チャンネルの視聴者、基本サービス以外の有料テレビサービス等の加入者の拡大が、投下した費用の成果を向上させるこ	/=	\ 	コーフィーかい		٠ 	ATI VI	/-/-			(廃止・休止の場合は記入不要)
	(5))	えりる上で解決	9-1	ヽ さ詸趄(壁)とそ0	ノ解決	朿			
とになる。			ルの視聴者、基	本	サービス以外の有	料テレ	ビサービ	ス等の加入者の拡	太大が、投下し	た費用の成果を向上させるこ